

1,日本のマクロ経済の均衡の定義は、資本市場の均衡と考えることができる。資本需要に合うように国民に資本提供が行われている状態が均衡状態だと考えることができる

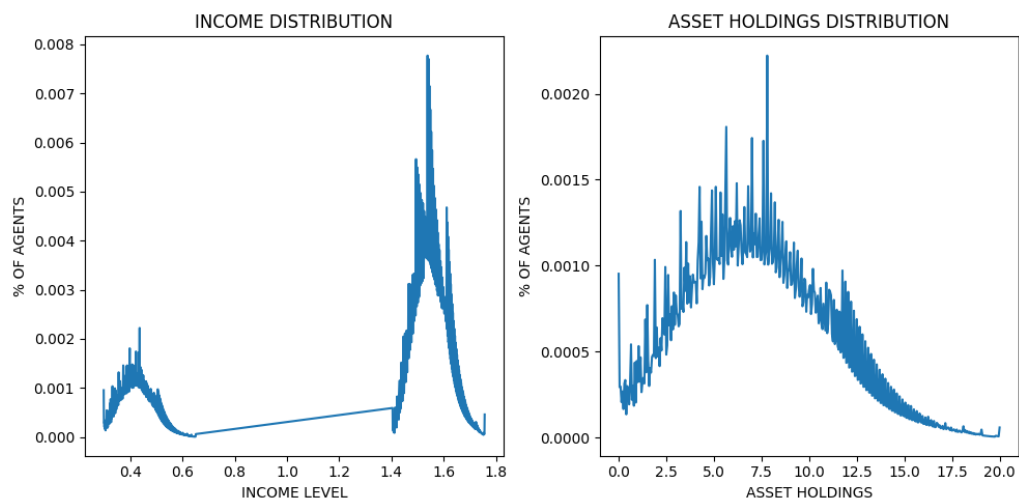
2,

KK: 8.041822600504139

r: 0.017633798605864934

w: 1.3033754232108015

GDP:1.6839865641857845



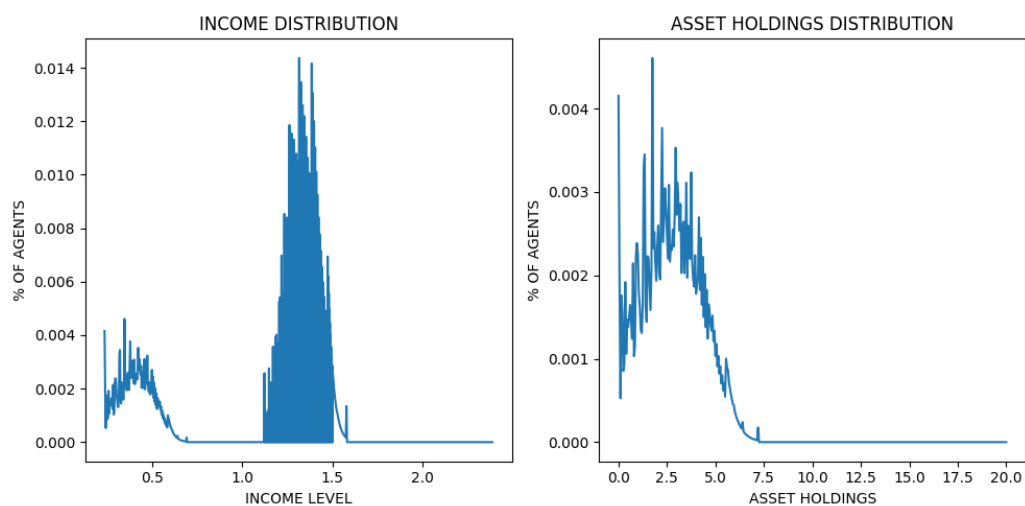
3,

KK: 3.293326193351589

r: 0.06306461060182042

w: 1.0425888549653326

GDP:1.3471274542414509



資産所得税導入前は income level が 0.2~0.5 あたりと 1.4~1.7 あたり幅広く分布していたのに対し、導入後は 1.2~1.5 あたりに集中して分布していることが分かる。この結果から、資産所得税の導入によって日本経済の所得格差は小さくなったと考えることができる。GDP は約 20%減少するという結果になった。

私が政策担当者だったら資本所得税の増加は行わない。なぜなら、資産所得税の増加は高所得者の所得の再分配は可能にするが、低所得者への資産分配は可能にできないからである。図から、所得格差の縮小は実現しているが低所得者層を減らすことはできていないことが分かる。格差の是正のためには低所得者に対して効果のある施策を行うことが必要だと考える。GDP も減少していることから、国内全体の利益を考えてもこの施策は適切ではないと判断することができる。これらの結果から、私は所得格差の是正のための施策として資本所得税を増加させない。